

数的理解

第1回: 割合

米田亮介

2021年9月29日

問題1

ある商品10個を1000円で仕入れることができたため、5割の利益を付けた値段で売ることにした。ところが、1つも売れなかつたため、付けた値段の6割引で売ったところ、10個すべて売れた。売上は全部でいくらであるか求めなさい。

答え。5割の利益を付けた値段は

$$1000 \times (1 + 0.5) = 1000 \times 1.5 = 1500(\text{円})$$

よってその値段の6割引は

$$1500 \times (1 - 0.6) = 1500 \times 0.4 = 600(\text{円})$$

である。よって売上は600円である。

問題2

ある商品10個を1000円で仕入れることができたため、6割の利益を付けた値段で売ることにした。ところが、5個しか売れなかつたため、付けた値段の6割引で売ったところ、残りの5個すべて売れた。売上は全部でいくらであるか求めなさい。

答え。商品1個あたりの値段は

$$1000 \div 10 = 100(\text{円})$$

である。6割の利益を付けた値段は

$$100 \times (1 + 0.6) = 100 \times 1.6 = 160(\text{円})$$

である。また、その値段の6割引の値段は

$$160 \times (1 - 0.6) = 160 \times 0.4 = 64(\text{円})$$

である。よって売上は

$$160 \times 5 + 64 \times 5 = 800 + 320 = 1120(\text{円})$$

である。よって売上は1120円である。

コメント

初回授業ではオリエンテーションを行ったのち、割合の計算の授業を行いました。SPIの試験では割合に関する問題は頻出です。SPIを受ける予定がある人は○倍、○割、○%の変換が素早くできるようにしておきましょう。

質問

SPIと簿記って何が違うんですか??

SPIについてはこの説明がわかりやすかったです。(引用: <https://www.recruit-ms.co.jp/freshers/spi-001.html>)

企業が人材の採用を行う際、応募者の能力や人となりを把握する目的で「適性検査」と呼ばれるテストを行うことがあります。2020年の調査によると、87.8%の企業が「適性検査」や「筆記試験」を実施しています。その適性検査の1つが、リクルートマネジメントソリューションズ(以下弊社)が開発した「SPI」です。SPIでは、性格特性や基礎的な知的能力を測定しており、応募者の人となりはもちろんのこと、どのような仕事に向いていて、どのような組織になじみやすいのか、などが分かります。

一方で簿記については、

簿記とは、簡単に言うと「お金やものの出入りを記録するための方法」で、日々の取引を帳簿に記入し、最終的に決算書を作成するための一連の作業のことをいいます。

とのことです。簿記検定のホームページに行くとサンプル問題があるのでどういった形式の試験なのかを概観することができます。

レジのお会計時にまとまったお釣りが出てくるような楽な計算方法 例 700円の商品を1200円で買って500円のお釣りをもらうなど

これは私もどうすれば良いか知りたいです(笑)。700円だと簡単ですが、例えば698円の商品を購入する場合だと難しいかもしれません。このときに1200円を出せばお釣りが502円になり、硬貨としては3枚で済むことに気づけばかなりの上級者ですね。